

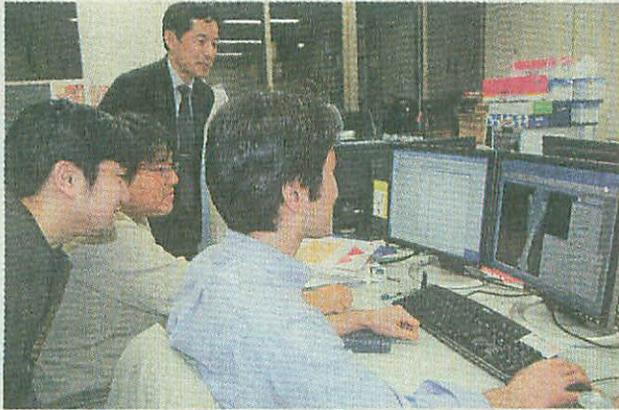
# 人工関節手術に活用

## 立体画像ソフトを開発

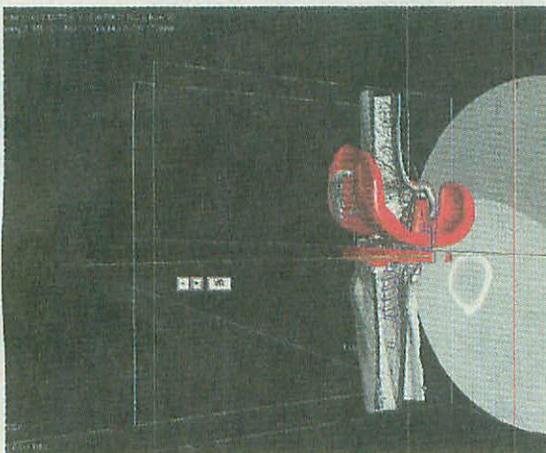
### 県立大の土井教授ら

# ベンチャー企業設立

県立大ソフトウェア情報学部の土井章男教授らは、立体画像などを基に人工関節手術の計画を策定できるソフトウェア「人工関節術前計画システム」を開発、システム制作や販売を行うベンチャー企業を設立した。手術個所の計測など手作業で行ってきた工程をコンピューター処理することで、高精度な手術を可能にする。高齢化が進む中、軟骨がすり減るなど変形性膝関節症の患者が増えており、医療現場などでの期待が高まりそうだ。



人工関節の手術用ソフトを開発し、起業した「アイプランツ・システムズ」の土井章男教授(左)ら



骨部を断面表示することで、人工関節の設置状態が確認できるシステム

県立大でのベンチャー企業設立は六社目。起業

した会社(資本金六百万円)はアイプランツ・システムズで、七月に登録した。社員は代表取締役の土井教授と取締役の伊藤史人プロジェクト研究員を含めた五人。二〇〇五年から科学技術振興機構の助成を受け、ソフト開発を進めてきた。「人工

関節術前計画システム」は、〇八年度前半には販売を開始する。変形性膝関節症などで傷んだ大腿骨や頸骨などを切除し、人工関節に換える手術を計画する際に活用する。三次元の立体的な図を使っているシミュレーションにより、最適な人工関節の選定と高精度な手術が可能となる。専用プリンターで実物モデルの作成もできる。これまででは、エックス線写真を使い定規と鉛筆での計測方法が行われてきたため、医師の技量に頼らざるを得なかった。同社はコンピューター断層撮影(CT)などの平面画像を三次元化画像

や立体モデルにするソフトも販売する。伊藤研究員は「手術自体は世界的に行われており、広く役に立ててもらいたい」と話している。アイプランツ・システムズのホームページ(<http://www.i-plants.jp/>)で詳細を紹介している。

# 岡山車 台湾の旅へ

市民の翼 好の翼 きょうパレード参加

花巻空港発の国際チャーター便による「盛岡市 鉄観光サービスマン主催、企業協賛」の「岡山車 台湾の旅へ」パレード参加式は二十日、花巻市の

台湾で運行しており、今年二度目。実行委員長を務める工藤勲・盛岡山車推進会長(76)は「歴史ある絢爛豪華な山車、盛岡の街とともに栄えて

肉用牛生産に携わる農家女性が飼育法や経営などについて情報交換しながら、経営能力の向上を図る「いわて肉牛モーモ一女性ネット」女性の集

# 女性の力で経営後押し

盛岡で肉用牛生産者の集い 飼育情報を交換



肉用牛飼育について女性の視点から意見交換した集いは二十日、盛岡市内のホテルで開かれた。肉用牛の生産振興に向けて女性

自慢の歌声 州 観客を魅了 奥 リーダースサークル 岩手日報江刺広華会(刀根忠良会長、会員三十二人)と岩手日報社主催の日報リーダーサークル江刺例会「奥州・えさし民謡&歌謡秋の響き」は二十日、奥州市江

花巻空港発の国際チャーター便による「盛岡市 鉄観光サービスマン主催、企業協賛」の「岡山車 台湾の旅へ」パレード参加式は二十日、花巻市の